

## 【干 支】 (かん - し)

十干 (じっかん) (甲乙丙丁戊己庚辛壬癸) と、十二支 (じゅうにし) (子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥) また、それらの組み合わせ。物の順序づけ、特に暦の上で、年や日の固有の順位を十進、十二進又は六十進的に示すのに用いる。干支で誰もが知っているのは、丙午や甲子だと思います。

乙未 (きのとひつじ) 干支の組み合わせの 32 番目で、前は甲午、次は丙申です。(下表参照)

干 支					
1 甲子	2 乙丑	3 丙寅	4 丁卯	5 戊辰	6 己巳
7 庚午	8 辛未	9 壬申	10 癸酉	11 甲戌	12 乙亥
13 丙子	14 丁丑	15 戊寅	16 己卯	17 庚辰	18 辛巳
19 壬午	20 癸未	21 甲申	22 乙酉	23 丙戌	24 丁亥
25 戊子	26 己丑	27 庚寅	28 辛卯	29 壬辰	30 癸巳
31 甲午	32 乙未	33 丙申	34 丁酉	35 戊戌	36 己亥
37 庚子	38 辛丑	39 壬寅	40 癸卯	41 甲辰	42 乙巳
43 丙午	44 丁未	45 戊申	46 己酉	47 庚戌	48 辛亥
49 壬子	50 癸丑	51 甲寅	52 乙卯	53 丙辰	54 丁巳
55 戊午	56 己未	57 庚申	58 辛酉	59 壬戌	60 癸亥
十 干 ・ 十二支		乙未 (きのとひつじ、いつび) は、干支の一つ			

西暦年を 60 で割って 35 が余る年が乙未の年となる。

十 干 (じっかん) 日本語 音読み 訓読み

甲 (こう・きのえ) 乙 (おつ・きのと) 丙 (へい・ひのえ) 丁 (てい・ひのと) 戊 (ぼ・つちのえ)  
己 (き・つちのと) 庚 (こう・かのえ) 辛 (しん・かのと) 壬 (じん・みずのえ) 癸 (き・みずのと)

### 干支の丙午 (ひのえうま) 43 番目

干支の丙午 (ひのえうま) 年の生まれの**女性は気性が激しく夫の命を縮める**という迷信は、丙午の年には火災が多いという江戸時代の初期の迷信が、八百屋「お七」が 1666 年の丙午生まれだとされたことから女性の**結婚に関する迷信に変化**して広まっていったとされています。

2014 年 (平成 26 年) は 31 番目	甲午 (きのえうま)
2015 年 (平成 27 年) は 32 番目	乙未 (きのとひつじ)
2016 年 (平成 28 年) は 33 番目	丙申 (ひのえさる)
2017 年 (平成 29 年) は 34 番目	丁酉 (ひのととり)
2018 年 (平成 30 年) は 35 番目	戊戌 (つちのえいぬ)
2019 年 (平成 31 年) は 36 番目	己亥 (つちのとい)
2020 年 (平成 32 年) は 37 番目	庚子 (かのえね)
2021 年 (平成 33 年) は 38 番目	辛丑 (かのとうし)
2022 年 (平成 32 年) は 39 番目	壬寅 (みずのえとら)
2023 年 (平成 33 年) は 40 番目	癸卯 (みずのとう)

干支 (えと) と読まず**かんし**と読むことで**かんし**と**えと**を区別する。

つながりは **のえ、のと** 十干(じっかん) 干支(かんし) (えと) 十二支(じゅうにし)